

第1章 計画策定にあたって

1 計画の基本的考え方

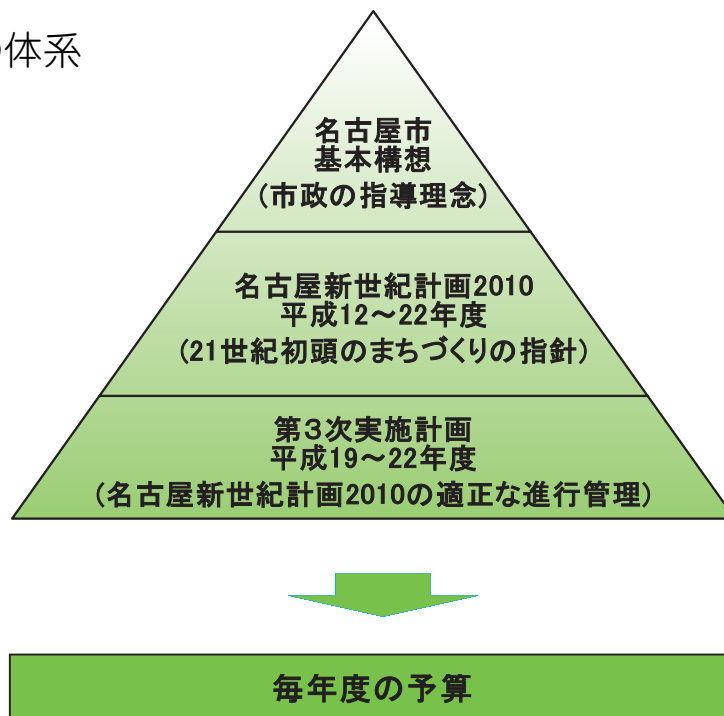
「第3次実施計画」は、「名古屋新世紀計画2010」の着実な実現をめざして策定した「第1次実施計画～パートナーシップでひらく新時代～」 「第2次実施計画～『協働なごや』で元気発信～」に続く3番目の実施計画となります。

計画期間は平成19～22年度までの4か年で、「名古屋新世紀計画2010」の総仕上げとなる計画です。

2010年は名古屋の開府から400年にあたる節目の年です。市民の皆さまとともに、新たなステージに向けた取り組みをすすめてまいります。

本計画は、このような考え方のもと、今後4年間に取り組む主な施策や事業をまとめたものです。

●計画の体系



2 計画の構成

この計画は、「総論」、「部門別計画」および「地域別計画」の3部で構成しています。

(1) 総論

「総論」のうち第2章において、市民の皆さまと協働で取り組む4つの重点テーマを設定し、テーマごとにまちづくりの方向性と主な事業計画を示しました。

(2) 部門別計画

「部門別計画」は、「名古屋新世紀計画2010」に従い、22部門により構成しました。各部門においては、施策ごとに、「基本方針」、「現状と課題」、「数値目標」および「事業計画」を掲載しました。

①基本方針

「名古屋新世紀計画2010」に掲げた基本方針に沿って記述しました。

②現状と課題

施策をめぐる現状と課題を整理し、的確な対応につとめました。

③数値目標

それぞれの施策の状況を示すものさしとして代表的と考えられる指標を掲載しました。

④事業計画

施策の方向性を示す主な事業を掲載しました。なお、維持管理的事業や経常的な事業は原則として非掲載としました。

(注) (1) 掲載した施策・事業は、本市が国、県、民間など他の主体に対して要請、または連携・協働してすすめるものを含みます。名古屋港関連の施策・事業は、名古屋港管理組合の協力を得て、「港湾・空港」部門などに掲載しています。

(2) 事業には仮称のものを含んでいます。

3 計画の事業数と事業費

(1) 施策数・数値目標数・事業数

区分	施策数	数値目標数	事業数
柱			
市民の福祉と健康	16	23	81
都市の安全と環境	10	17	104
市民の教育と文化	17	23	81
市街地の整備	22	32	115
市民の経済	11	13	46
人権と市民サービス	2	2	13
合計	78	110	440

(2) 計画事業費

総事業費	うち一般会計
約1兆4,100億円	約9,800億円

(注) 計画事業費については、現時点における概算であり、事業手法等の工夫により、事業費の縮減につとめながら、実施計画の実現をはかります。